

2 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

一 あとの問一～六に答えなさい。

問一 次のア～オの読みをそれぞれ平仮名で書きなさい。

ア 馬王堆帛書 イ 中務集 ウ 趙孟頫 エ 搨模本 オ 布字

問二 次のア～オは書道に関連のある語です。それぞれの説明を簡潔に書きなさい。

ア 枕腕法 イ 摩崖 ウ 印篆 エ 節臨 オ 飛白

問三 次のア～エに答えなさい。

ア 宋の太宗の勅命によって刻され、王羲之・王獻之の書を中心に歴代皇帝や名臣の書などをまとめた、現在確認できる最も古い法帖名を書きなさい。

イ 石鼓文を生涯にわたって臨書し、「篆刻が第一、書は第二、画は第三」と自分の芸術を評した人物名を書きなさい。

ウ 福建省寿山付近に産する黄色の石印材の名称を書きなさい。

エ 平安時代中期に和様書道を完成させた三跡と呼ばれる人物名をそれぞれ書きなさい。

問四 次の図版①・②について、あとのア～オに答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

ア 図版①は、「黄州寒食詩卷」である。また、図版②は、「黄州寒食詩卷跋」である。それぞれの筆者名を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ウ 図版②の書跡名にもある「跋」とはどのようなものですか。書きなさい。
- エ 図版②に書かれている内容を書きなさい。
- オ 図版②の書風の特徴を簡潔に書きなさい。

問五 次の図版①～③について、あとのア～エに答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち三)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

ア 図版①の書跡名を書きなさい。

イ 図版①の書風の特徴を簡潔に書きなさい。

ウ 図版②は、図版①の一部を拡大したものです。それぞれの仮名について、その字源をそれぞれ楷書で書きなさい。

エ 図版③は、図版①の一部を拡大したものです。書かれている字はどう読みますか。その読みを平仮名で書きなさい。

問六 次の図版①～④について、あとのア～エに答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ア 図版②～④の筆者名をそれぞれ書きなさい。

イ 図版①～④を年代の古い順に並べ、その記号を書きなさい。

ウ 図版③の書風の特徴を簡潔に書きなさい。

エ 図版①の書跡を生徒に鑑賞させることとします。生徒にはどのような点に気付かせる必要がありますか。簡潔に二つ書きなさい。

2 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち四)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の図版①「張遷碑」、図版②「伊都内親王願文」について、あとの問一・二に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問一 図版①と図版②について、それぞれの書風の特徴を簡潔に書きなさい。

問二 図版①又は図版②のどちらかの書跡の特徴を生かして「飛躍」の二文字の漢字創作作品を制作し、展示することとします。どちらの書跡の特徴を生かしますか。選んだ書跡の図版の番号を書きなさい。また、作品の構想について、「全体の構成」「用具・用材」「制作意図及び作品展示の場所とその効果」のそれぞれの観点に従って書きなさい。

2 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち五)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 あとの問一〜三に答えなさい。

問一 次の図版は、「泰山刻石」の臨書学習で生徒に示したものの一部です。この図版を示した上で臨書の指導を行ったところ、ある生徒が、次に示す試書と清書の作品を提出しました。清書作品は、試書作品と比べてどのような点が改善されていますか。また、この生徒に対して、清書作品を更に改善するためにどのようなことを指導しますか。それぞれ簡潔に三つ書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

生徒の試書作品



生徒の清書作品



問二 「書道I」の仮名の学習において、次の図版を用いて全十時間の指導を行うこととします。鑑賞、臨書及びこの題材を使った作品作りをさせる場合、どのような学習活動及び指導上の留意事項を設定しますか。それぞれ簡潔に書きなさい。また、各学習活動に適切な時間配分を行い、その時教を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち六)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問三 次のア・イに答えなさい。

ア 次の文章は、東晋の王羲之の『筆勢論』の一節です。この文章の内容を簡潔に書きなさい。

作字之勢、在乎精思熟察、然後下筆。

イ 次の文章は、清の馮班的『鈍吟書要』の一節です。この文章の内容を簡潔に書きなさい。

作書須自家主張。然不是不學古人。

四 平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道Ⅰ 1 目標 (1) には、「書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。」とあります。「効果的に表現するための基礎的な技能」とは、どのような技能ですか。「臨書活動」及び「創作活動」について、それぞれ書きなさい。

2

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

㉓		㉒							問題番号
問一		問六				問五		問四	
②	①	エ	ウ	イ	ア	ウ	イ	ア	オ
				(古い) ↓ ↓ ↓ (新しい)	② ③ ④				
						エ			

解答欄

2

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(五枚のうち三)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		問題			
問一	問二	「作品の構想」の観点			選んだ図版
		制作意図及び作品展示の場所とその効果	用具・用材	全体の構成	
指導する点	改善された点		<ul style="list-style-type: none">紙墨の濃淡、潤滑筆の種類	<ul style="list-style-type: none">余白字配り作品の大きさと形式	解答欄

2

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(五枚のうち四)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号

解答欄

三

問二

時	学習活動	指導上の留意事項

2

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(五枚のうち五)

受験番号	
氏名	

問題番号	三	
	問三	
解答欄	イ	ア
	四	「創作活動」